

自主保全と専門保全の連携で達成する！ 儲かる生産保全の進め方

～「トヨタ式保全SE」にもとづく全員参加型の保全活動（TPM）～

日 時 2025年12月18日（木） 10:00～17:00 ※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。（休憩時間の会場内飲食は可能）
(9:30 受付開始)

会 場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講 師 佐藤 修治 氏
豊田エンジニアリング株式会社 上級コンサルタント

受講料 46,200円（資料含む、消費税込）
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】 トヨタが実践する、作業者自身が設備点検や小修理を行う自主保全が学べます。
- 【2】 自主保全での清掃・点検活動の実施方法と、これらによるチームワークの向上が理解できます。
- 【3】 自主保全と専門保全との連携強化による原因追及や再発防止の仕方が学べます。
- 【4】 トヨタ式保全の実践により各現場が同期した設備保全の最適化につながります。

プログラム

1. TPMとは

- 1-1 TPMの目的と進化
- 1-2 トヨタにおけるTPM
- 1-3 設備稼働ロス改善の進め方
- 1-4 設備故障とTPM活動
- 1-5 トヨタのTPM再構築

2. トヨタ式保全（設備）サイマルテナスエンジニアリング（SE）の進め方

- 2-1 保全（設備）SEの必要性
- 2-2 トヨタでの保全（設備）SEの実践と進め方
 - 2-2-1 工法の最適化
 - 2-2-2 設備の最適化

3. 自主保全の進め方

- 3-1 生産ライン稼働状況の見える化
- 3-2 自主保全とは

3-3 自主保全の進め方

3-4 自主保全の勘所

- 3-4-1 全員参加の秘訣
- 3-4-2 リーダーの心得
- 3-4-3 微欠陥のを見つけ方

4. 専門保全の進め方

- 4-1 専門保全とは
- 4-2 故障低減の進め方
- 4-3 故障時間短縮の進め方
- 4-4 保全費最適化の推進
- 4-5 設備稼働ロス低減の推進

5. 質疑応答

※トヨタでの実践例などは各章で紹介します。

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます（担当者より一週間前を目途にご連絡致します。）

お申し込み方法

ホームページ（<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>）または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

No.257053

